

# 職業奉仕 それをあなたの仕事にしよう

Vocational service—make it your business



R I 会長 ジェームス L. レイシー

James L. Lacy, President R.I.

**20**世紀初頭にロータリーが創設されたとき、その職業奉仕部門を通じて職業倫理規範を主唱したことは注目に値するものです。当時は、就業規則や取引公正の原則を定めた法律がなかったため、従業員や顧客の弱みにつけ込む事業経営者が多くいました。ロータリーは、会員の私生活はもちろん職業上の生活においても高度な倫理基準を確立することに指導的役割を果たしたのです。

各クラブのレベルではややもすると見過ごされがちなものではあるのですが、この第2の奉仕部門はロータリー精神にとって不可分のものであると、私は信じてまいりました。職場が大変革を遂げたことを考えれば、今日の社会における職業奉仕の役割はこれまで以上に重大なものとなっています。

職業奉仕プロジェクトの実施ということになると、ロータリアンは、基本的理解ないしは明確な方向性を欠いているように見受けられます。しかしながらこの職業奉仕は、世界中の数え切れないほどの人たちの将来、とりわけ就職先やキャリア・アップを求めている

若者たちの将来に対して、大いなる有望性をもたらす分野なのです。

職業奉仕月間である10月は、この奉仕分野に焦点を当てる理想的な時期です。みなさんがその目標を達成し、夢を実現するために手にしてきたのと同じ機会を、ほかの人たちにも提供することを確約しようではありませんか。実業界あるいは専門職の指導者としてのロータリアンは、機会に恵まれない人たちに便宜を提供したり、職業ガイダンスや就職を求める人たちにすぐれた助言を与えることのできる、絶好の立場にいます。

職業上の機会を提供し、職能を向上させ、職場に誇りを注ぎ込むことをあなたの仕事にしようではありませんか。それは立派なビジネス以上のものです——それによって、あなたの地域社会を強化するだけでなく、個人としてまた職業人としてのあなたに恩恵をもたらすでしょう。

私自身、長年にわたるロータリー奉仕の中で、世界中における傑出した職業奉仕プロジェクトを数多く目にしてきました。それらの

ロータリーの夢を  
追いつけよう



FOLLOW  
YOUR ROTARY DREAM

プロジェクトは、起業家精神や創造性そして生涯持ち続けることになる個人というものに対する誇りなどを、植え付ける手助けをしてきました。だれかほかの人がその夢を実現するのを手助けすることで、まさしくあなたは「ロータリーの夢を追いつけよう」が可能になるのです。

\*インドネシアのジャカルタRCとロータリーアクトクラブは、ホームレスの子供たちが自活できるようにと、手工芸技術の職業訓練を提供するワークショップを開発しています。ジャカルタ・メンテンRCとオランダのデルフト・コニングスフェルドRCがこれを支援しています。

\*カナダ・ロータリーのスクール・プログラムは、学校からドロップアウトする危険性の高い生徒たちに目標を定めたものです。ロータリアンたちは、指導、助言、就職案内を行っています。

\*オーストラリアでは、全国のクラブが「ライブワイヤ（活動家）作戦」に従事しています。これは、若者たちが自らベンチャー・ビジネスを創始するのを奨励するコンテストです。RCや企業が一体となってガイダンスや支援を提供しています。最も優れたアイデア

や事業計画には賞が与えられます。

以上の事例は、若者が職業を定めその将来を形作るのに際して、ロータリアンが生涯にわたる影響力を及ぼすことができることを例証するものです。あなたのクラブが1,000人の学生に対する就職説明会を支援するにしても、あるいはあなた自身が単にだれかに職業上のアドバイスを与えるにしても、それでもってある人の人生におおきな影響を及ぼすことができるのです。

このように、ビジネスとは利益を上げる手段以上のものであるということを示すことで、「ロータリーの夢を追いつけよう」ではありませんか。ビジネスとはまた、仕事を履行し、職務を立派に果たすことで、ほかの人たちの生活を豊かにすることでもあるのです。これが、理解されることの少なかったロータリーの一部門である職業奉仕の真の意味なのです。

(R1指定記事)

ジェームス L.レイシー  
1998-99年度R1会長



## 職業・奉仕・四つのテスト

R I 職業奉仕委員会

委員 渡辺 好政 (児島)

1905年、ポール・ハリスは、3人の職業の違う者たちに呼びかけ、ロータリーを創始しました。

はじめは、助け合いを強調しておりましたが、しだいに、自己の職業のよって立つ地域社会とのかかわりあいの中から、「自己の職業を通じて社会に仕える、貢献することを目指す」ようになりました。これが、英語でいう「service」であり、「奉仕」と訳されているのです。つまり、職業奉仕とは、ロータリアン一人ひとりの職業そのもので奉仕をすることであり、自己の事業所の継続、あわせて、その革新であります。つぶしてはならないのです。適正な利潤を得て、事業所がよくなることで、取引関係もよくなり、顧客にも満足を与え、地域社会に貢献することです。無料奉仕や極端な割引行為などは、職業奉仕とは考えられないものであり、これは職業に関連した社会奉仕の一端とみなされます。

1987年のR I 理事会は「職業奉仕は、ロータリークラブと会員両方の責務である」との声明を出しました。筆者は、この声明には、職業訓練を必要とする地域社会のニーズに対応するといった社会的背景も存在しており、R I が、決して、ロータリアン個人の職業奉仕を軽んじたわけではないと考えております。

ご案内のように、ロータリーでの職業奉仕の原語は、Vocational Serviceであります。『手続要覧』(1995年版)をみますと、「Vocation (職業)という言葉は、「定職 regular employment、稼業 calling、事業 business、専門職務

profession、あるいは業務 occupation、を指すものである」となっております。ロータリーでの「職業」とは、やはり、vocationで表現されているように、神様から与えられた天職の意味であります。

ロータリアンは、その職業において、高い倫理性を要求されており、自己の利益のみの追求に専念することなく、ロータリアンでない人々とも、それぞれの職業を尊重しながら、社会に貢献し、社会の発展に寄与することが要請されているのです。

それらの実践のための規範として、「四つのテスト」が大切になってまいります。筆者は、この「四つのテスト」の発案者であり、実業家であり、R I の会長を務められたハーバート・テラーの『我が自叙伝』をひもとくときは、いつも、その感動的な生活に深い感銘を受けております。テラーは、この「四つのテスト」を掲げて、事業に成功をおさめ、多くの会社を再建されました。彼は、ロータリアンに、このテストを個人的な生活の中にも生かすよう勧めています。

本年度のR I 職業奉仕委員会の主な活動の一つに、各地区、各クラブに対するロータリー・ボランティア・プログラムの実践要請があります。ちなみに、ロータリー財団のロータリー・ボランティア補助金は、国際レベルにおいて機能しておりますし、ロータリアンのみならず、財団学友やローターアクターにもその適用が広がられています。

第2690地区 (鳥取、島根、岡山) P G



## 職業奉仕月間に思う

『ロータリーの友』委員会

顧問 岩井 敏 (東京京浜)

ロータリアンにとって「職業奉仕」は毎日の生き方そのものであると言えます。「職業分類」に基づいて会員が構成される組織の性格から、それは当然のことであり、またこれがロータリーの特徴でもあります。

私たちは入会のとき「四つのテスト」や「ロータリーの綱領」を渡され、先輩ロータリアンからロータリーの奉仕理念について教を受けます。そして、その後、例会でイニシエーションスピーチの機会を与えられます。

私は29年前、自分の業務の特徴や社会的役割についての説明をするとともに、職業倫理について話をしたことを記憶しております。私にとって、イニシエーションスピーチは、同じクラブの会員に職業人としての私を知ってもらう以上に、自分自身を確認するという意味をもっておりました。

私たちは例会はじめ各種の会合で、多くのロータリアンに会うことができます。ロータリーの職業分類制度のおかげで、自然に異業種の人との交際が広がります。同業者間の交際とは異なり大変バラエティーに富んでいるので多くを学ぶことができます。しかもロータリーの綱領で「各自が、業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること」をうたっているのではなさらずです。このようにして私たちは、自らの職業奉仕について、次第にロータリアンとしての姿勢を確立していくこととなります。

いままで私たちは優れた先人や先輩の格調

高い職業奉仕論に多くを学んできました。しかし、それを具体的な活動に結びつけるためには、時代のニーズが何かを読みとらなければなりません。現在、私たちが置かれている社会的、経済的諸条件は、「四つのテスト」や「ロータリーの綱領」が制定された当時とは大きく異なってきております。私たちは歴史の教訓として、「四つのテスト」が実践に活かされた意義を学び、そのことを高く評価しなければなりません。大切なことはこれらの教訓を今日どのように実践に結びつけるかということです。そのためには今日の社会が、世界が、私たちロータリアンに何を求めようとしているのか、先見性をもって読みとり、奉仕活動に発展させていくことが肝要だと思います。

私がかねてから、ロータリーの職業奉仕における今日の課題として、「地球環境保全」と「職業倫理」を特に重要テーマとして関心をよせております。この課題についての対処の方法にはいろいろあると思いますが、職業奉仕を実践するロータリアンの立場から、地球環境保全問題については、例えば国際標準化機構 (ISO14000) への対応、職業倫理問題については、例えば同業者団体等における指導的役割を、正しい時代認識に基づいて果たしていくことの重要性について、特に関心を有している次第です。

第2750地区 (東京・北マリアナ諸島・グアム・ミクロネシア・パラオ) PG

# 職業ボランティアの実態調査をしました

第2720地区 荒尾RC (熊本県)

当クラブでは、1997-98年度職業奉仕委員会の重要なテーマとして、クラブ会員による職場ボランティアの活動について実態調査をしました。出席免除会員を除く会員54人のうち48人から回答がありましたが、寄付募金や職場内活動が圧倒的な比率を占めています(下の表)。この点に関しては、実行の容易さや、地域とのつながりの深さを表していると思います。

また、職業奉仕と社会奉仕は、明快に分離できないところもありますが、この調査が、職業奉仕とボランティアのあり方を再考する試金石となると思います。

この調査ではいろいろな事例も出てきましたが、その一部をご紹介します。

## 三光育英会

三光(株) 常務取締役 城 康彌

三光(株)の発足は、1946年6月にさかのぼります。創始者である安田理雄(現取締役相談役)

は、戦前中国(青島)で染料工場を興していました。安田は、青島時代、真の人間同士の実のある交流を通じ日中国交改善にも資するため、中国の学生を日本に留学させていましたが、戦後、日本に帰ってきて、食べるだけで精いっぱい時代に「将来の国の再興のためにも」と奨学制度を私費によってでも賄おうとしました。安田は、46年8月には久留米市役所に奨学金の寄付を申し出ました。以降、65年まで久留米市三光奨学育英会として継続されました。

一方、化学事業を56年から荒尾市で始め、59年から荒尾市育英会が発足、以来、39年間継続しています。現在まで約180人の奨学生が巣立ち、大学に進学したり、実社会で活躍しています。このような報告を受けるとき、少しでも社会のお役に立てた、という喜びが私たちの企業にはあります。

安田は「税金を払うことを名誉に感じる会社にしたい」と、常々私たち社員に話していました。職業を通じ、企業を土台として社会に奉仕しようとする安田の理念が、社員との心の絆にもなっているように感じます。

## 小岱山パトロール

小岱山 末安 薫 末安 英介

小岱山は、熊本県で初めて県立公園になった山ですが、その林道脇に不法投棄されたゴミが大量にあり生活用水にも不安が出てきました。また、シンナーなどを吸う青少年たちを見かけることもあり、環境悪化が心配されます。

先達が残してくれた自然を次の世代に残すことが、今生きている自分たちがやらねば、との思いで組織したのがパトロール隊です。地元の消防団員を中心に地域の人々、協力企業4社が参加しています。

活動は月1回(当面)のゴミ収集で、約30人の参加があります。月1回の顧問会議には、協

ボランティア項目	件数(件)	項目比(%)	分類比(%)	
自然環境保護	14	4.1	4.1	
福祉医療	福祉医療	28	8.2	23.1
	赤い羽根	21	6.1	
	献血	21	6.1	
	赤十字	9	2.7	
文化スポーツ	14	4.1	4.1	
国際関係	国際関係	5	1.4	2.7
	ユニセフ	4	1.3	
寄付募金	一般寄付	32	9.3	36.5
	地元寄付	67	19.6	
	切手	18	5.3	
	テレホンカード	8	2.3	
職場内活動	職場内活動	51	14.9	29.5
	地元支援	50	14.6	
合計	342	100.0	100.0	

力企業も出席し、作業日程などを決めます。また、1カ月を1～10日、11～20日、21～月末と3地区（府本、樺、金山）に分け、小岱山パトロールを行います。

今後は捨てられない環境をつくること、クイ打ちと植樹などを計画しています。

## ウォークラリーへの協力参加

野川整形外科医院 院長 野川 勉

10年前までは、身障者中心のウォークラリーがあり参加していたのですが、現在は一般参加となって、ほとんど車いすの人は参加していません。当院の人工透析患者さんは、身障者1級の内部障害者ですが、毎年、職員ともどもこのラリーに参加しています。貧血の軽い人もいますが、健康増進のために参加しています。時に

は1泊して参加する場合があります。コースは、5km、10kmなどいくつかありますが、10kmに参加しています。

## 生涯教育・リフレッシュ教育関連講座

有明工業高等専門学校 校長 山藤 馨

有明高専では、当校の専門に沿って、地域の人々に公開講座を提供している。前年度に開催した講座は以下の通り。

- ・やさしい化学実験講座（中学生20人）
- ・インターネットにチャレンジ（中学生20人）
- ・折り紙建築の製作（小学生高学年・中学生20人）
- ・アマチュアのための楽しいビデオ講座（一般成人者30人）
- ・インターネット入門（一般社会人20人）
- ・遠くて近いインドと日本（一般成人者20人）

## インターネットホームページで 職業奉仕フォーラムを開催中

京都洛中RC 職業奉仕委員長 砂山 憲一

京都洛中RC職業奉仕委員会では、今年度の活動方針として、会員の職業奉仕への理解を深めることを掲げました。

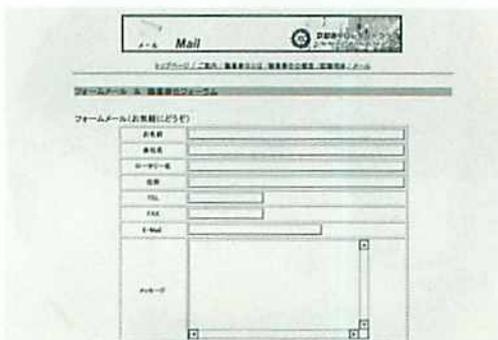
会員が職業奉仕をどのように理解し実践しているかを知ることが、職業奉仕を考え直す機会になるのではないかと思います。会員の職業奉仕の実践を調査し、この調査結果をまとめ、インターネットホームページに掲載しています。私たち京都洛中RC会員の職業奉仕活動の内容を、世界のロータリアンに見てもらい、活発な意見交換ができればとの思いからです。

実際にご覧いただければお分かりになると思いますが、会員の職業奉仕への理解と実践も多岐にわたっています。ある会員は「良い素材を使っておいしいものを作り適正な価格でお客様に提供しています。仕事に品位を保ち、誠実に行動し、働くものの生活レベルを高めるように努めています」と述べています。また、ある土木工事事業の会員は「社内に災

害時の応急対策物資および対策チームがあり天候警報発令時に24時間待機している」と書いています。

このように、会員がさまざまな考えと実践事例をホームページ上で述べていますので、ぜひアクセスいただいて、皆様のお考えを私どものホームページの職業フォーラムにお寄せください。お寄せいただいたご意見は、ホームページ上で閲覧できます。

また世界のロータリアンから寄せていただいた、さまざまな考えをもとに、今月、クラブで職業奉仕フォーラムを開催する予定です。



<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/rakuchu/>

# 東南アジア経済視察団

## 会員企業の海外工場を訪問

旭川東 石田 祐一

当クラブでは、本年2月22日から7日間にわたり、東南アジア経済視察団として10人が、会員企業の海外工場の訪問を主目的として、マレーシアとベトナムへの研修旅行を行いました。

### 職場訪問

1989年、NASA（アメリカ合衆国航空宇宙局）が開発した高性能フィルター用不織布という素材を使い、医療用品をつくるという独創的分野で業績を伸ばす、日本メディカルプロダクツ（株）が、旭川市に次ぐ第2の生産拠点をマレーシアに移し、国境を超えて企業戦略を展開しております。

同社は、医療用ガウンやマスク製品のトップメーカーで、国内にライバル企業は存在しません。日本全体が不況にあえいでいる今も、円安が幸いして収益を伸ばしております。そんなスケールの大きな企業が旭川から育っていることを知る人は意外に少ないのですが、私たちのクラブ会員からなる東南アジア経済視察団一行は、

工場内の様子



工場の紹介を受け（写真上）、工場内を視察（写真下）

そのマレーシア工場を訪問しました。

日本メディカルプロダクツ（株）の山本信男社長が、私たち旭川東RCの会員でありますので、視察は、ロータリー活動の一つである相互理解を深めるための職場訪問の一環として企画されたものです。

一行は、製造工程を見学し、輸出先や最近の業績などの説明を受けました。工場働く多国籍の従業員、他社の追随を許さない製品クオリティーの高さ、日本だけでなくアメリカやヨーロッパにまで広がる市場に視察団は驚嘆し、企業のスケールの大きさを再認識しました。

同社のポリシーは次の通りです。

- (1) 医療品として顧客の要望に合致する製品を供給すること。
- (2) 医療材料として完ぺきな製品を競争力ある価格で供給すること。
- (3) 社員の教育と品質向上にたゆまぬ努力をすること。

同社は、旭川が第1の故郷であり、マレーシアが第2の故郷ですが、近い将来、第3の故郷へと展開していく感触を得ました。

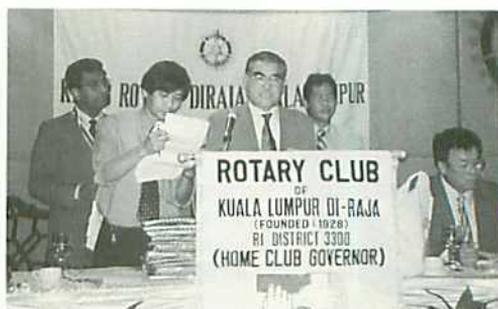
## クアラルンプールRC訪問

私たちの一行は、マレーシアの首都で、一番大きく伝統あるクアラルンプールRCの例会に、おそろいのブレザーを着て出席しました。同RCは、第3300地区に所属し、会員は118人です。

例会は、12時30分から各自食事をして、1時



例会場に於て



例会で団長があいさつ

に点鐘されます。ロータリーソングから始まり、プログラムは正味1時間を消化して2時に終了しました。例会は、大変陽気な雰囲気終始し、私たちに歓迎してくださいました。

同RCは、1928年創立で、今年70周年を迎えられる地区のリーダー的クラブであります。従いまして、ガバナーを一番多く出しています。

当クラブとしては、10人そろって海外での例会訪問は初めての経験ですが、大変感銘を深くし、忘れ得ぬ思い出の1ページとなりました。

(第2500地区 北海道)

## ある日 ある時 小さな親切

—— 「職業奉仕賞」 を贈る

### 館山RC

館山RCでは「職業上で小さな親切」をして相手を感動させた人を、地方新聞で公募し、その結果、例会で6人を表彰しました。

なお、受賞者と受賞理由は以下の通りです。

青木健一氏（小林貴金属勤務）——接客態度が立派。二十数年も変わらぬ感じよい態度を続けることは非凡なことで、職業人の鑑かぎみと思われる。

下羽夏江氏（さくら銀行勤務）——老人や体の不自由な方に対し、積極的に親身になって説明し、誘導案内をしている。お客様からの相談に目的に合わせた商品説明で、有利な資金運用を考えてくれる。職場のチャリティー運動に積極的に活動している。

石井浩氏（館山消防署勤務）——昨年9月の台風の時、強風で危険な状態にもかかわらず急な勾配こうばいの屋根に上り、2階家ではがれて飛んでいきそうなトタン屋根を修理し、自分の仕事をまっとうした。

天野重彦氏（安房水産高校勤務）——長年にわたり学生の教育と生活指導で、すばらしい実績を残している。インターアクト活動に長い間、指導的立場で従事しており生徒の信頼も厚く、大変慕われている。

安田由香氏（東武鉄道勤務）——出発前のあわただしい中を払い戻しの窓口まで案内してくれるサービス精神と社員教育がすばらしく、それを社員が現場で実践していることに感動した。

草間保子氏（ダスキン勤務）——言葉遣いがていねいで、礼儀正しい外務職員。責任ある確かな対応をし、客に信頼され、来訪を楽しみに待たれている。

(第2790地区 千葉県)